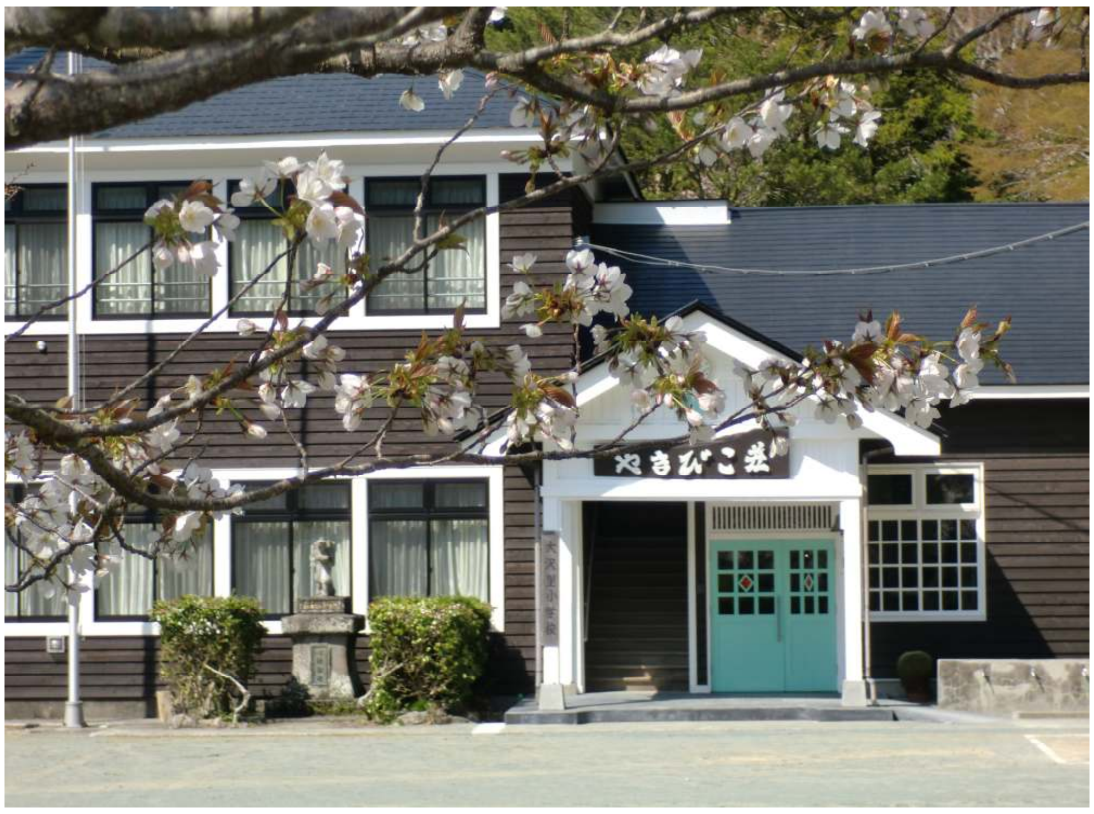
やまびこ学級新聞

やまびこ学級新聞
西伊豆町営やまびこ荘
〒410-3511
静岡県賀茂郡西伊豆町
大沢里150
TEL・FAX　0558-58-7153
www4.ocn.ne.jp/~yamabiko

西伊豆町役場観光商工課
〒410-3514
静岡県賀茂郡西伊豆町
仁科401-1
TEL　0558-52-1114

西伊豆町営　やまびこ荘

廃校利用の格安宿泊施設



平成２３年春にリニューアルオープンした
西伊豆町営　やまびこ荘

山間の集落の中に建つ小さな木造校舎。

長い間、多くの子どもたちが元気に学んできた大沢里小学校は、昭和４８年、児童減少のため廃校となつた。

廃校後の校舎を利用し、宿泊施設として運営されてきたのが、西伊豆町営やまびこ荘だ。

教室は客室に、職員室は天然温泉を引き込んだ浴室に変わった。

多くの子どもたちがやまびこ荘を訪れ、一度は消えてしまった子どもたちの笑い声が再び旧大沢里小学校の校舎に響いている。

一昨年、耐震補強工事により耐震基準をクリアすると共に、同時に行った改修工事により新たに生まれ変わった。

工事はその面影を壊さぬ中で、快適な利用が出来るよう施された。

明治４０年に建てられた木造校舎の基本的な構造は残し、筋違や耐震壁を作り補強した。

長い廊下や二階に上がる広い階段も健在で、工事前は白かった外装は木目が見える濃い茶色に塗装され、当時の小学校時代を再現している。

客室はモダンな雰囲気に内装され、隙間風や雨が吹き込んだりした教室の窓はサッシに付け替えられた。

厚くなった壁は断熱、防音効果を上げると共に、耐震壁としての役割も果たしている。

震災の影響もあり、新装オープン時は、少なかったお客様も、夏にはいつものやまびこ荘らしく多くの子どもたちの声が響いている。

春の伊豆は花でいっぱい

春に西伊豆を訪れると、至る所に花が咲いているのに気付く。

やまびこ荘に続く仁科川沿いにも、河津桜やソメイヨシノの他、多くの品種の桜が、その花の鮮やかさを競っている。

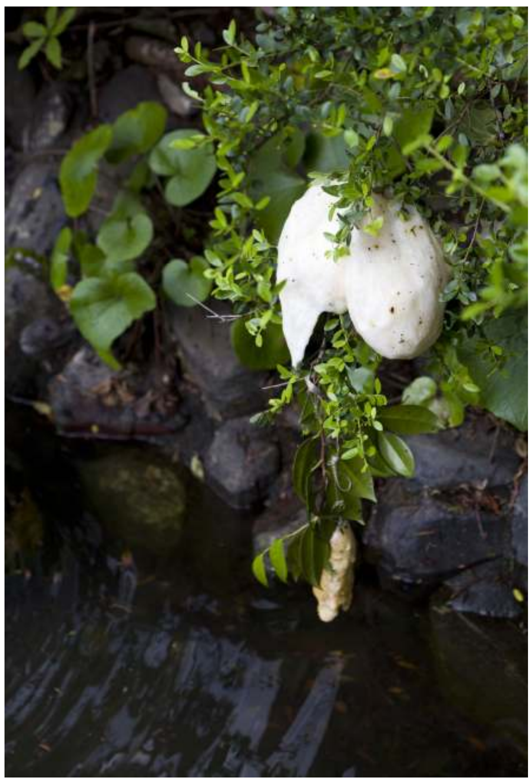
山には多くの山桜が咲いていて、空の青と山の緑が真っ白な山桜をよりいっそう浮かび上がらせ、渓流越しに見る景色は、時間を忘れさせてくれる。

道沿いには、ボランティアが手入れしている花壇がどこかしこにあり、民家の入り口にも植木や鉢が置かれ、道行く人々を和ませている。

やまびこ荘の校庭にも、多くの花が咲いている。

満開の桜、雪のように花びらを散らす桜、まるで花束のように、色とりどりの花を集めて咲かす満開のツツジ、春の西伊豆は花で一杯だ。

春はバーベキュー棟からテーブルを出し、青空の下、お花見を楽しむのも良いかもしれない。



モリアオガエルの卵塊

モリアオガエルの産卵

5月から6月がピーク

毎年やまびこ荘の池には、モリアオガエルが産卵にやってくる。

元々森で生活しているカエルだが、産卵のためにこの時期だけ池や沼などの水辺に集まってくる。

やまびこ荘の池には温泉の混じった沢の水を引き入れ水温が高いためか、地域では最も早く産卵が始まる。

昨年は４月２９日に最初の卵が確認された。

産卵のピークは５月中旬から６月に掛けてで、小さな池の周りに数十個の泡の塊が確認できる。

産卵は深夜から早朝に掛けて行われるが、まれに午前中産卵をする場合があり、運がよければ、産卵の瞬間を見ることが出来るかもしれない。

卵は２週間ほどでふ化し、雨の日に泡の塊から、おたまじやくしが池に落ちて池の中はおたまじやくしで一杯になる。

産卵は８月初旬まで続く。

駐輪場の上に咲いた満開のツツジ

アオバズク今年も飛来するか

春になると、やまびこ荘の周りには多くの鳥たちがやってきて、美しい歌声やあいくるしい姿を見せてくれる。

やまびこ荘に訪れた子ども達が設置した巣箱には、毎年、小鳥たちが子育てのために巣作りをする。

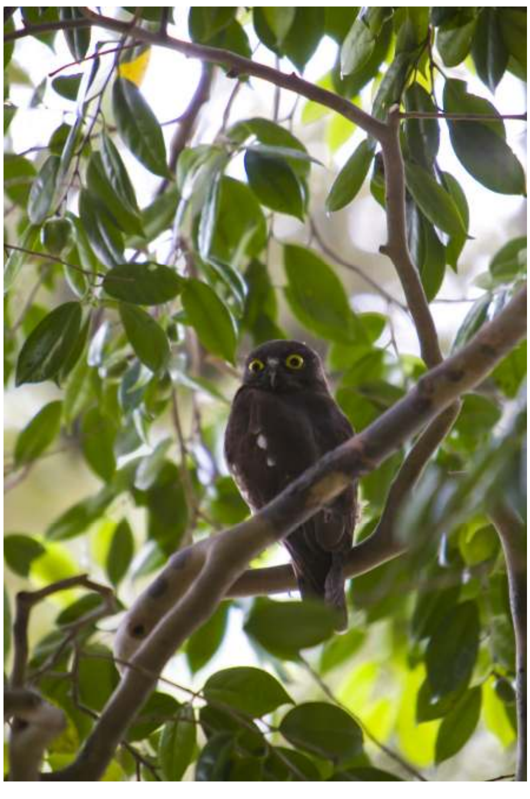
５月になると、巣箱からは雛たちの声が聞こえ、親鳥たちがせっせと餌を運ぶ姿を、間近で観察することが出来る。

近くの大木には、毎年６月頃、フクロウの仲間「アオバズク」が子育てのためにやってくる。

「ズク」は古語でフクロウの事を表し、青葉が芽生えるころ、日本に飛来するので「アオバズク」と言う日本名が付いた渡り鳥だ。

巣の入り口で雄がずっと見張りをしている。

雛が巣立ちをする８月下旬ごろまで、観察することが出来る。



毎年やってくるアオバズク

西伊豆町営　やまびこ荘
ご予約はお電話で
0558-58-7153